

赤字削減・解消変更計画書(市町村)

(平成30年度から令和8年度まで9ヵ年計画)

都道府県名	保険者番号	保険者名
埼玉県	00110064	行田市

① 赤 字 況 の 発 生 状	年度(赤字発生年度)		平成28年度			赤字の原因							
	法定外繰入金 ※1		501,457			千円	<対象となる赤字額>52,995千円 (＝赤字額501,457千円－単年度収支差262,619千円－H28精算額185,843千円) 少子・高齢化や短時間労働者に対する被用者保険の適用拡大などにより、被保険者数が減少したことに伴い、税収が減少したこと。また、高齢化の進行、医療の高度化に伴い、一人当たりの医療費の伸びなどにより、保険給付費が増大したため。						
	繰上充用金の新規増加分 ※2					千円							
	赤字額(合計)		501,457			千円							
② 赤 字 削 減 計 画	赤字削減・解消のための基本方針					赤字削減・解消のための具体的取組内容							
	赤字の要因分析を行った上で、赤字削減・解消計画書を作成し、収納率の向上、健康づくりや生活習慣病重症化予防による医療費適正化の取組、適正な保険税の設定等により、できる限り赤字の削減・解消を図る。					①収納率向上対策〔口座振替納付の促進(目標:収納方法別割合の50%)、文書・電話等による催告の強化(目標:納税コールセンターからの架電件数4万件)等〕 ②医療費適正化の取組〔市医師会等と連携し、特定検診受診率(目標:60%)・特定保健指導実施率(目標:60%)の向上、ジェネリック医薬品の使用促進(目標:数量シェア80%)等〕 ③適正な保険税の設定〔賦課限度額の見直し(目標:法定限度額)、保険税設定の見直し(目標:県の示す標準保険税率を参考に適正な保険税率を設定)〕							
	年度別の赤字削減※3 (率)	計画年次	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	第7年次	第8年次	第9年次	合計	
		年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
		法定外繰入の削減予定額(率)	9,430 千円(%)	10,511 千円(%)	2,849 千円(%)	5,547 千円(%)	-323,342 千円(%)	8,800 千円(%)	113,067 千円(%)	113,067 千円(%)	113,066 千円(%)	52,995 千円(%)	
		繰上充用金の新規増加分の削減予定額(率)										0 千円(%)	
	合計赤字削減予定額(率)	9,430 千円(%)	10,511 千円(%)	2,849 千円(%)	5,547 千円(%)	-323,342 千円(%)	8,800 千円(%)	113,067 千円(%)	113,067 千円(%)	113,066 千円(%)	52,995 千円(%)		

※1 国民健康保険事業の実施状況報告様式5の決算補填等目的の法定外一般会計繰入額の小計額と一致していること。
※2 当該年度の繰上充用(当該年度の歳入が歳出に不足し、翌年度の歳入を繰り上げてこれに充てる)の額と、前年度の繰上充用の額の差引増加分。但し、累積赤字のうち削減・解消された繰上充用金がある場合は、その額を除く。
※3 率の場合は、赤字額又は削減すべき合計額に占める削減予定額の割合を記載する。なお、赤字額がすべて解消される場合には削減率100%とする。

上記のとおり赤字削減・解消変更計画書を提出します。
令和5 年9月7日

(あて先)
埼玉県知事 大野 元裕 様

保険者名 行田市

代表者職氏名 行田市市長 行田 邦子 印